

科目区分	専門分野Ⅱ	科目名	母性看護援助論Ⅱ (ハイリスク)	対象学生	第2学年
		単位数(時間数)	1単位(15H)	学 期	第1学期
担当講師	医師				
科目目標	妊娠・分娩・産褥の異常とその管理について理解する。				
授業概要	<p>1. 妊娠期の異常</p> <p>1)ハイリスク妊娠・感染症 2)妊娠高血圧症候群 3)妊娠持続期間の異常 4)常位胎盤早期剥離 5)前置胎盤 6)糖尿病と妊娠</p> <p>2. 分娩期の異常</p> <p>1)産道・娩出力・胎児及び付属物の異常(破水、胎児機能不全を含む) 2)分娩時異常出血 3)産科処置と産科手術</p> <p>3. 産褥期の異常</p> <p>1)子宮復古不全、産褥熱・乳腺炎 2)感染症(B型肝炎)、血液型不適合妊娠 3)肺塞栓 4)産後精神障害</p> <p>4. 分娩に関連した新生児の異常</p> <p>1)分娩外傷 2)新生児特有疾患・高ビリルビン血症 3)早産児 4)新生児一過性多呼吸 5)呼吸窮迫症候群 6)胎便吸引症候群</p> <p>終了試験:1H</p>				
看護師国家試験出題基準	<p>不育症、流産、早産、感染症、常位胎盤早期剥離、前置胎盤、妊娠高血圧症候群、妊娠糖尿病、出生前診断、妊娠貧血、妊娠悪阻、高年妊娠、若年妊娠、胎盤機能不全、前期破水、帝王切開術、陣痛異常(微弱陣痛、過強陣痛)、子宮復古不全、分娩時異常出血、産褥熱、産後精神障害、尿路感染、排尿障害、先天異常の新生児、早産児、低出生体重児、低血糖、新生児一過性多呼吸(TTN)、呼吸窮迫症候群(RDS)胎便吸引症候群(MAS)、高ビリルビン血症、新生児ビタミンK欠乏症</p>				
授業の進め方	授業概要に従って進める。				
履修のポイント・留意事項	妊娠、分娩、産褥各期の異常について、病態生理を理解できるように進める。現状の問題点を理解できるように統計なども関連させながら進める。				
テキスト	<p>系統看護学講座「母性看護学 2」 医学書院 病気がみえる 産科, メデックメディア</p>				
評価方法・配点	終了試験(100点)				